

ワシントン DC, 20240  
アメリカ合衆国内務省魚類野生生物局

千葉県我孫子市高野山 115  
山階鳥類研究所様

親愛なる山階鳥類研究所のスタッフの皆様：

日本におけるアホウドリの保全の業績によって、魚類野生生物局リカバリー・チャンピオンに山階鳥類研究所が選ばれました。おめでとうございます。

これまで 20 年近くにわたり、山階鳥類研究所の、尾崎清明、出口智広、佐藤文男ほかの皆さんは、海鳥の集団繁殖地確立のための手法を開拓することで、アホウドリの復活を助けてこられました。所員たちは、思いやりの気持ちと、科学的な厳格さをあわせて、アホウドリのヒナを捕獲し、移送し、飼育して、そのすべての個体を巣立ちに導かれています。本種の人工飼育について既往の情報がなかったことを考えると、これはみごとな成果です。火山島鳥島にある主要な集団繁殖地は（噴火の可能性があるため）予測不可能な状況にありますが、皆さんは、そこから離れた場所に、この種のための安全な避難場所を作られました。

山階鳥類研究所では、デコイと音声を使って、アホウドリの新たな集団繁殖地を鳥島の中でも安全な場所に確立させ、そこではもうデコイも音声も使わなくてよい状態になるほどの大きな成功を収めました。さらに山階鳥類研究所では、アホウドリの人工衛星追跡に取り組み、渡りルートと、北太平洋全域にわたる周年の生息状況を解明されました。これによって、この堂々たる鳥を、漁業との関係で生ずる危害から守るために不可欠の情報が得られました。最後に、新聞、雑誌、テレビ、およびインターネットでの創意にあふれた報道によって、一般からの価値ある支援を引き出しました。

新しい考えを取りあげ、保全活動として実践に移すという、山階鳥類研究所の能力が、本種の復活のために大きな役割を果たしてきました。魚類野生生物局のアホウドリ復活チームは、日本ならびに北太平洋全域にわたる皆さんの思慮深い情報提供によって非常に助けられてきており、皆さんの仕事ぶりを讃えるものです。

私は、山階鳥類研究所の成し遂げられた成果について、皆さんにお祝いを申し上げるとともに、引き続いての取り組みにお礼を申し述べるものです。

アメリカ合衆国内務省魚類野生生物局  
アクティング・ディレクター  
ローワン・W・グールド (Lowan W. Gould)  
【原文英文】